

原料費調整制度に基づく2025年11月検針分のガス料金について

(東京地区等)

東京ガス株式会社

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

(消費税込)						
1ヵ月のご使用量	料金表A 0～20m ³	料金表B 21～80m ³	料金表C 81～200m ³	料金表D 201～500m ³	料金表E 501～800m ³	料金表F 801m ³ ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,056.00	1,232.00	1,892.00	6,292.00	12,452.00
調整単位料金 (円/m ³) (参考)	169.99	155.14	152.94	149.64	140.84	133.14
10月 調整単位料金	162.61	147.76	145.56	142.26	133.46	125.76

2. 標準家庭における影響

(消費税込)			
1ヵ月のご使用量 30m ³ (45MJ/m ³)	2025年 10月 ^{*1}	2025年 11月	増減
適用料金(円/月)	5,488	5,710	222

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量（2018年度～2022年度の5ヵ年平均）に基づき算定しています。

^{*1} 経済産業省の「電気・ガス料金負担軽減支援事業」実施に伴い、8円/m³値引きされています。

3. 原料価格の変動

(円/t)			
	2025年5月～2025年7月 の平均 (10月検針分)	2025年6月～2025年8月 の平均 (11月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	85,690	84,980	▲ 710
LNG	85,670	85,020	▲ 650
LPG	82,200	80,400	▲ 1,800
基準平均原料価格(b)	57,250		
差額(a-b)	28,400	27,700	▲ 700

- LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

＜原料価格の変動による単位料金調整額の算定＞

■ 平均原料価格の算定

LNG平均原料価格(貿易統計値)	85,020	×	0.9479
+ LPG平均原料価格(貿易統計値)	80,400	×	0.0546
	84,980.29		
	↓ (10円未満四捨五入)		
	84,980	円/t	

■ 原料価格変動額の算定

84,980	円/t	－	57,250	円/t	=	27,730	円/t
↓ (100円未満切捨て)							
						27,700	円/t

■ 単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定

単位料金調整額	=	27,700	円	/100円×0.0891 ^{*2}
	=	24.68	円 ^{*3}	

*2 変動額100円につき単位料金を0.0891(0.081×1.1)円調整します。

*3 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

5. 標準家庭料金の算定方法

東京地区等					
本体料金(税込)	=	基本料金(1,056.00円)			
	+	調整単位料金(130.46円)	+	24.68	円) ×30m ³
		基準単位料金(税込) ↑		↑ 単位料金調整額(税込)	
	=	5,710	円	・ 本体料金は小数点以下切捨て	

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（57,250円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0891円（0.081円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が156,200円（調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は156,200円としてガス料金の調整を行います。